

「平成20年度 定置用燃料電池大規模実証事業」での助成金受給決定について  
 — 家庭用燃料電池の設置台数は 1, 328 台 —

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、財団法人新エネルギー財団(NEF)が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO 技術開発機構)から助成を受けて実施する「平成20年度 定置用燃料電池大規模実証事業」において、実施事業者中最大となる497台の交付決定を受けましたのでお知らせいたします。

当社は、平成17(2005)年度から開始された本事業に、初年度から積極的に参加し、平成19(2007)年度までの3年間に合計831台を日本全国47都道府県の一般家庭に設置しております。事業最終年度となる今年度の交付決定台数497台を加えると1,328台となり、4年間にわたる本事業での総設置予定台数3,307台の40%を占め、実施事業者中最大となります。

最終年度となる今年度の実証事業では、当社が福岡県などと共同で家庭用燃料電池を集中的に設置する世界最大の「水素タウン」整備事業において150台程度が設置される予定であるなど、より実態に即した形で、装置の開発・改良から設置・運転形態の最適化まで総合的な検討を行います。

当社は、本年4月に、従来からこの分野で提携関係にある三洋電機株式会社と合併で、燃料電池システムの開発企画、システム設計、生産管理を行うための新会社「株式会社ENEOSセルテック」を設立し、更なる機器の信頼性・耐久性向上とコストダウンのスピードアップを目指しておりますが、2009年度からスタートする家庭用燃料電池の本格販売を見据えて、今後ともさまざまな施策を展開してまいります。

記

「平成20年度 定置用燃料電池大規模実証事業」当社への交付決定の内訳

1. 実施者:新日本石油株式会社
2. システムメーカー:株式会社ENEOSセルテック、株式会社荏原製作所
3. 交付台数:497台(総交付台数1,120台)

(参考)定置用燃料電池大規模実証事業 交付台数の推移

年度	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	合計
総交付台数(台)	480	777	930	1,120	3,307
当社への 交付台数(台)	134	301	396	497	1,328
交付比率(%)	28	39	43	39	40

以上